

● 令和4年度 研修会 第1回 『子どものてんかん』 ●

講師：広島大学病院 小児科 小林 良行 先生

実施日時：令和5年1月21日（土）14：00～15：30

会場：オンライン配信（ZOOM開催） 配信会場：広島大学病院臨床管理棟

対象者：保育・教育関係者

参加者：68名（養護教諭20名、保育士17名、看護師11名、保健師6名、
教諭9名、保育教諭3名、学生2名） 担当：広島市

●講演内容

- ① けいれん・てんかんの基礎知識
- ② てんかんの検査・診断・治療
- ③ てんかんとその併存症状（神経発達症・睡眠障害）
- ④ てんかん患者さんの日常生活・留意点



●アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「てんかん発作のある児を担任しているため」

「てんかんについて専門家の説明を聞いたかったから」

「てんかんのお子さんに関わる際に知識として備えておきたかったから」

「学校にてんかんの診断を受けている子どもがおり、初任者で知識も経験も乏しいため」

<感想>

「実際のけいれんの様子を見ながら解説もあり分かりやすかった」

「とても分かりやすく、勉強になった。てんかんと発達障害の併存率に驚いた。今後
てんかんの子が入園した時は今日の経験を生かしたいと思う。ありがとうございました」

「てんかん発作時の留意点が、よくわかった」

「発作の内容と頻度を家族と情報共有する大切さが分かった」

●相談員より一言

てんかんを持つ子どもは比較的多くみられますが、実際家族以外が発作出現時に遭遇する事はなかなかありません。いざという時のために備えておきたいという、熱心な関係者の参加が多くありました。感想も多くいただき関心の高さがうかがえました。